

学校教育目標  
心豊かで しなやかに  
生きる力 を育成する

# 西ノ京

京都市立西ノ京中学校  
学校だより ⑪  
令和2(2020)年2月28日  
校長 内田 隆寿

## 3年生 卒業までの カウントダウン！

### ～ 仲間とともに最後まで ～

3年生は、すでに2月10日からの私学入試と2月17日からの公立前期選抜という大きなヤマ場を乗り越え、今は最大のヤマ場となる3月6日の公立中期選抜に向けて最後の力を振り絞って全力で取り組んでいるところです。進路実現を目標に、学校運営協議会の方や学生ボランティアの先生方に支えてもらいながら11月より取り組んできた3年生の平日未来スタディ・土曜学習会も、残すところ明日2月29日の1回のみとなりました。私学入試直前の学習会では、休憩時間に理事の皆さんから“力餅”が振る舞われ、帰り際には“五角（合格）鉛筆”とお手製のお守りのプレゼントもありました。これまでの道のりを思い出しながらラスト1回、頑張りましょう。

そんな追い込みの時期にふさわしい、何かよい言葉はないかと考え、次の言葉を皆さんに贈ることにしました。

### 『人事を尽くして天命を待つ』



この言葉、聞いたことがある人も多いと思いますが、最後まであきらめず、不安になり過ぎず、胸を張って受験を乗り越えるために、この言葉を選びました。

「人事を尽くして天命を待つ」とは、「できる限りのことをやって、結果については天に任せて心を労しない」という意味です。

受験生に限らず誰にでも言えることですが、できる限りのことをしているならば、後はもう流れに任せる他ありません。なぜなら、結果を自分でコントロールすることはできないからです。自分ではコントロールできない結果について、あれこれ心配したり不安に思ったりしても、時間やエネルギーがなくなっていくだけでよいことはほとんどありません。それゆえ、「今」できることの一つ一つに集中すること（＝人事を尽くすこと）。それが一番大切であり、実は、それしかできることはありません。

受験前になると、「もっと前から頑張っておけばよかった…」「入試本番、本当に大丈夫かなあ…」といった声がよく聞かれます。そのような後悔や不安は、悩み多き受験生にとっての「受験あるある」です。しかし、心配し過ぎて勉強が手につかなくなってしまっただけでは元も子もありません。過去にはどうしたって戻れませんし、入試の結果はどうしたって発表日になるまでわかりません。

今、できることをできるだけする（＝人事を尽くす）ということ意識して生活できれば、そのような悩みにとらわれることが少なくなり、その分、時間もエネルギーも有意義に使うことができます。

そこで、人事を尽くしているかどうかについては、「自分はできるだけのことをしているだろうか」と自問自答することです。その「できるだけのこと」とは、「勉強時間」や「問題を解いた数」といった量の側面だけでなく、「できる限り丁寧にやる」「本気でやる」「あきらめず考えている」「何度も確かめている」というような質の意味合いも含まれます。【もちろん、「睡眠時間を削ってでも！」という話ではありません。万全の体調を維持できれば元も子もありません。

「しっかり睡眠をとる」「栄養のある食事をとる」も「できるだけのこと（＝人事）」に含まれることを忘れないでください。】

そんな自問自答で、「できる限りのことをしている！」と思えるならば、その調子で胸を張って努力を続けましょう。「まだまだ」「もう少し」と思うならば、さらに頑張れるはず。そして「やりきった！」という感覚で、本番に臨んでほしいと思います。

受験や勉強は人間的に成長するチャンスです。「人事を尽くして天命を待つ」この言葉を心に刻み、「今」を大切に、苦しい時を乗り越えましょう！

また、すでに進路が内定した生徒もいますが、その人たちも自分自身の進学準



備として、そして、これから公立中期選抜に臨む仲間たちのためにも、最後まで気を抜かず学校生活を送ってください。

校内では、3年生を応援しようと、1・2年生一人一人が書いた「Thank you Flower」のメッセージや美術部のメンバーが制作した“合格祈願”の装飾を、昇降口や階段に掲示してくれています。そんな後輩応援団も含めて「受験は団体戦！」です。オール西ノ京で頑張りぬきましょう！



なお、3年生は、3月7日より卒業前行事に入り、卒業証書授与式は、3月13日（金）午前10時開式となっています。9時55分には3年生が入場いたしますので、参列される皆様は9時50分までにはご入場いただきますようお願いいたします。

## 6年生の皆さん ようこそ 西ノ京中学校へ！

### ～ ふれあい探検 in 西ノ京 ～

2月7日（金）の午後、4中9小の小中一貫教育「よんきゅう絆プロジェクト」の取組として、校区4小学校の6年生を迎えて、「ふれあい探検 in 西ノ京」が開催されました。

体育館に集合した6年生たちを前に、生徒会本部役員による渾身のオープニングで幕を開けました。まずは、最近定番の漫才。練習の成果をいかに発揮し、絶妙なボケとツッコミに6年生の緊張も徐々にほぐれ、続く吹奏楽部の華麗な演奏と本部役員のダンスパフォーマンスによるヒット曲“パプリカ”，部活動紹介メッセージビデオ、そして、最後の交流ゲームの頃にはあちこちで歓声が沸きあがり、すっかり場の雰囲気緩和していました。



その後は中学校の教科担任制による「授業体験」です。希望により各教科＋育成学級にわかれた6年生に、中学校の授業の1コマを味わってもらいましたが、ここでも在校生が大活躍！初対面の他の小学校の友達と一緒に、再び緊張状態になる6年生を、それぞれの教室で見事にサポートしてくれました。

最後は「部活動見学」です。この日は寒い一日でしたが、お目当ての部活を順にめぐって中学生の活動の様子を熱心に眺めていました。



## 学校保健委員会を開催 ～心身ともに健康な生活をめざして～

2月20日（木）、校医や学校薬剤師の先生、PTA 代表に参加していただき、学校保健委員会を行いました。この一年間の保健・健康に関わる行事の振り返りと各種健康調査結果や飲料水・プールの水質検査、教室等の照度や空気検査、ダニアレルギー検査などの結果報告に基づき、それぞれの立場から意見交換を行いました。また、今最も気にかかる新型コロナウイルスの件も話題にのぼり、生徒一人ひとりが安全で健康に生活できる学校環境の整備に向けて確認し合いました。

## 1組「小さな巨匠展」育て！豊かな心

2月20日（木）～23日（日）、堀川御池ギャラリーで第42回「小さな巨匠展」が開催され、1組のみんなの力作が他校の友達の作品とともに展示されました。この作品展は全市の育成学級の作品を一堂に集めた学習発表の場です。一人一人が精一杯力と個性を発揮し、創意工夫した作品の数々から日々の授業や活動の様子が目に浮かびます。



